

## 府域に関わる断層の位置(始点と終点)の設定の考え方

## &lt;既存知見に基づくもの&gt;

- 国の地震調査研究推進本部の断層調査に基づく。
- 上記調査がないものについては、活断層研究会編(1991)「新編日本の活断層」に基づく。

## &lt;京都市の被害想定に基づくもの&gt;

- 京都市の被害想定調査において断層設定がされているものについては、上記に関わらず、京都市の被害想定調査に基づく。

## &lt;最近の新知見に基づくもの&gt;

- P波探査等で新知見が得られたものについては、上記に関わらず、今回の京都府地震被害想定調査において断層設定を新たに行う。

## &lt;その他&gt;

- その他の断層については、「見落とし」がないように岡田・東郷(2000)「近畿の活断層」に、記載があるものに(黒実線)を設定(特に府北部等断層密度が低い地域)。

起震断層候補活断層一覧表(案)

断層帯名	断層帯(活動区間)	長さ(約km)	運動特性	地震規模(M)	歴史地震	準拠した資料等	今回の検討事項
1-1 三方・花折断層帯	花折断層帯(中南部)	47(35)	南部:東側隆起	7.5(7.3)		京都市(2003)	
1-2			中部:右横ずれ(東側隆起)				
1-3	(北部)	26	右横ずれ	7.2	寛文(1662)		
11 三方・花折断層帯	桃山一鹿ヶ谷断層帯		東側隆起			京都市(2003)	
2-1 三峠・京都西山断層帯	京都西山断層帯(殿田~神吉・越畑断層)(42)		北西半部:左横ずれ(北東側隆起)(7.5)			地震調査研究推進本部	
2-2	京都西山断層帯(水尾~櫻原断層)	15	南東半部:西側隆起	6.6		京都市(2003)	
2-3	三峠断層	26	左横ずれ(北東側隆起)	7.2		地震調査研究推進本部	
2-4	上林川断層	26	右横ずれ(北西側隆起)	7.2		地震調査研究推進本部	
12 京都西山断層帯	光明寺一金ヶ原-男山東側断層帯		西側隆起			京都市(2003)	北部セグメントは京都市(2003)に準じる。男山東側断層と連結させるかは今回検討。
13 京都西山断層帯	亀岡断層帯		北東側隆起			京都府による。	
3 京都盆地-奈良盆地断層帯	奈良盆地東縁断層帯(井手断層他)	35	東側隆起	7.4		地震調査研究推進本部	井手断層のみを対象とするか、全体を考慮するか検討
9 黄檗断層	黄檗断層		東側隆起			京都市(2003)	南端は前回検討結果により宇治川北岸とする。
4-1 郷村・山田断層帯	郷村断層	34+	左横ずれ(南西側隆起)	7.4+	北丹後(1927)	地震調査研究推進本部	
4-2	山田断層帯主部	33	右横ずれ(北西側隆起)	7.4		地震調査研究推進本部	
5 木津川断層帯	木津川断層帯	31	北側隆起(右横ずれ)	7.3	伊賀上野(1854)	地震調査研究推進本部	
6 琵琶湖西岸断層帯	琵琶湖西岸断層帯	55(57)	西側隆起	7.7(7.8)		京都市(2003)	
7 有馬-高槻断層帯	有馬-高槻断層帯	34(55)	右横ずれ	7.2(7.5)	慶長伏見(1596)	京都市(2003)	
8 生駒断層帯	生駒断層帯	38	東側隆起	7.0-7.5		地震調査研究推進本部	南のセグメントは地震調査研究推進本部に準じるが、北のセグメントを交野断層とする。
14 若狭湾断層群		18	北東側隆起			新編日本の活断層	
15 養父断層		10	南側隆起			新編日本の活断層	
16 宇治川断層		9	北西側隆起			京都市(2003)	
17 その他(近畿の活断層の赤・赤破線・黒実線)						岡田・東郷「近畿の活断層」(2000)による。	

1~8:地震調査研究推進本部HP(<http://www.jishin.go.jp>)より

9~10、12、13:今回評価

14~15:活断層研究会編(1991):「新編日本の活断層」より

16:京都市(2002):「京都の活断層第2版」より

11:京都市(2003):「京都市第3次地震被害想定結果報告書」より

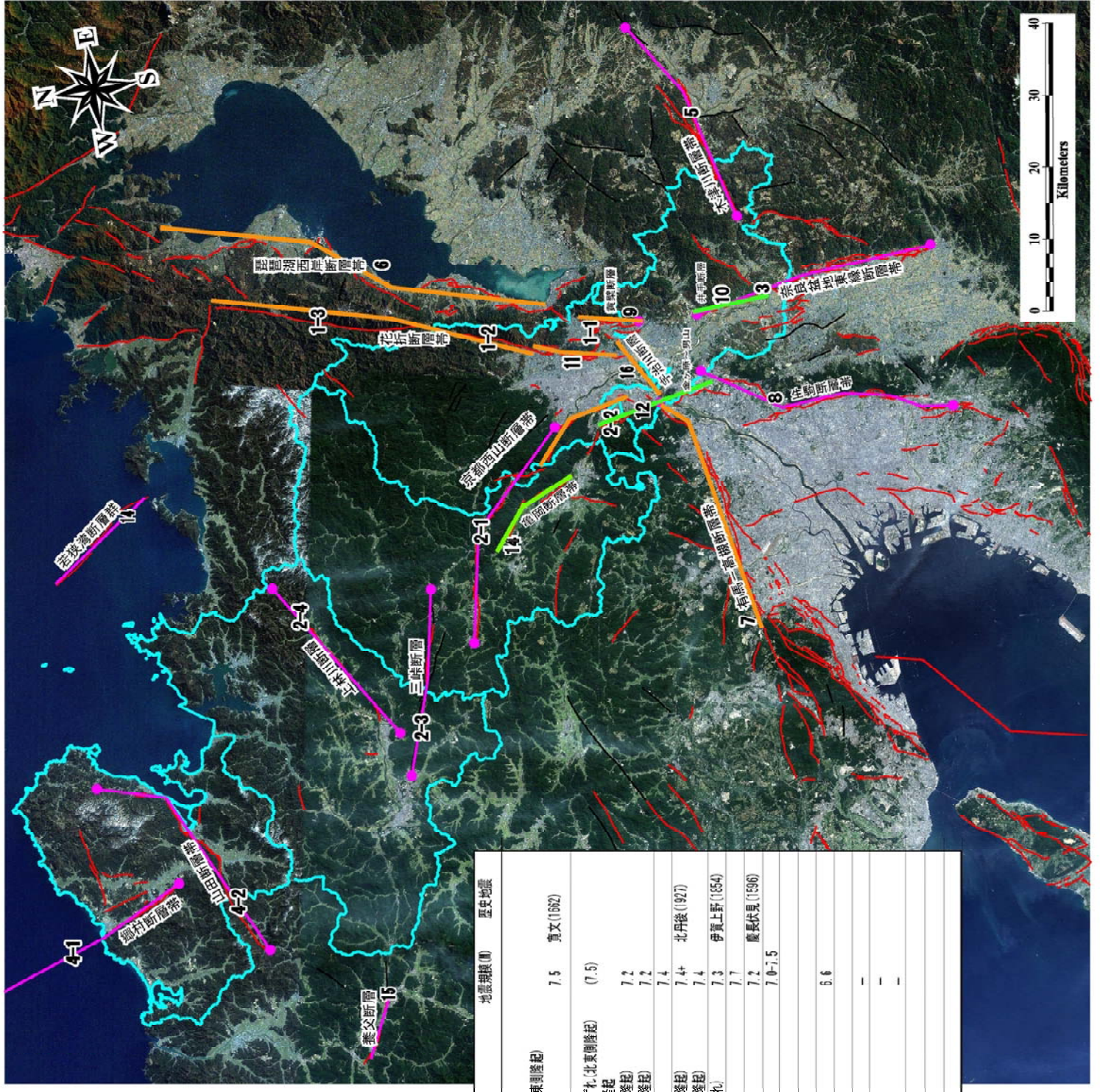


図-1  
起震断層の候補となる活断層一覽図

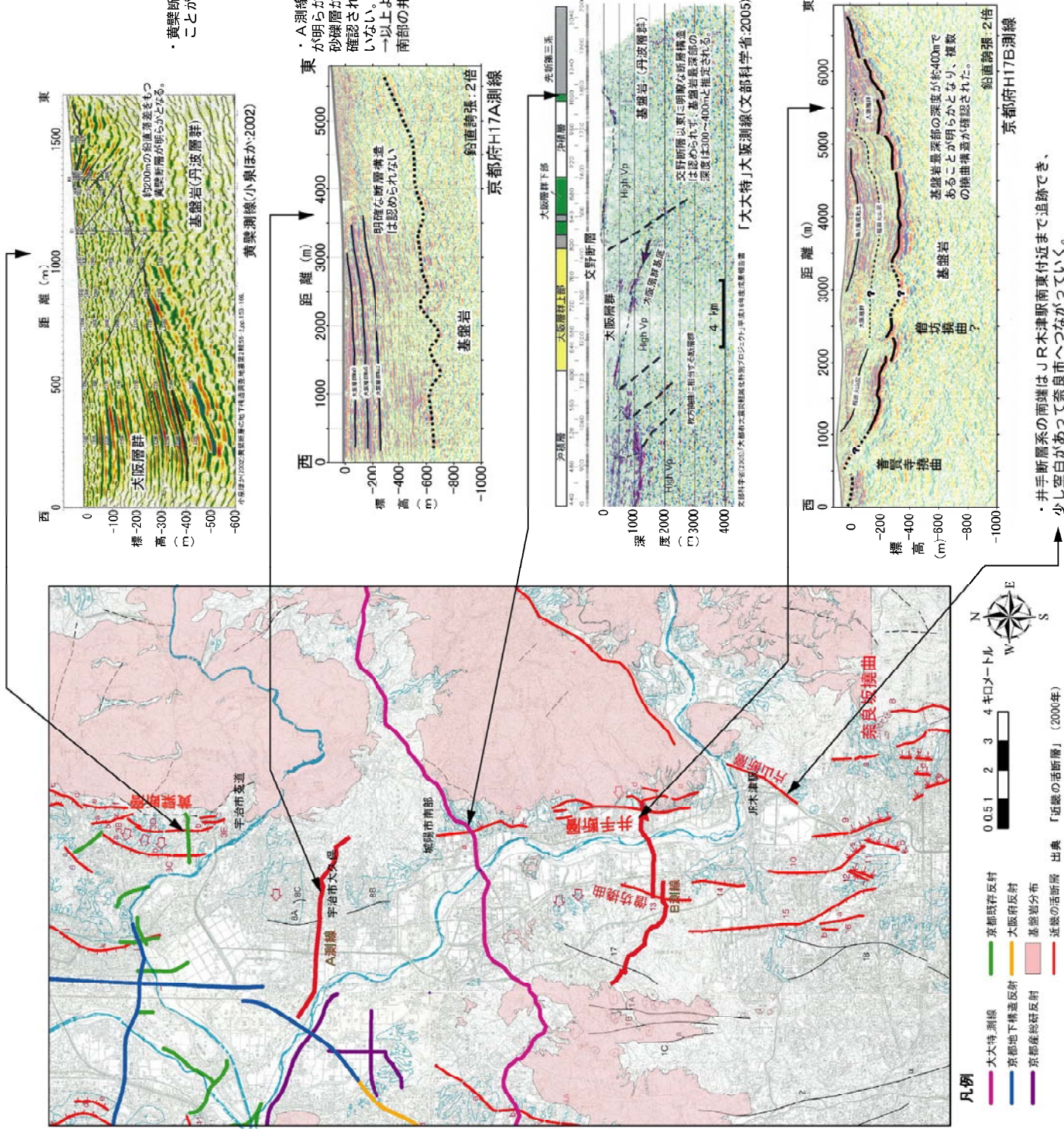
起震断層候補活断層一覽表

断層帯名	断層帯(活動区間)	長さ(約km)	運動特性	地震規模(M)	歴史地震
1-1 三方・花折断層帯	花折断層帯(中部)	17	南部：東側隆起 中部：右横ずれ(東側隆起)	7.5	寛文(1682)
1-2	花折断層帯(北部)	30	右横ずれ		
1-3					
2-1 三峠・京都西山断層帯	京都西山断層帯	(42)	北西半部：左横ずれ(北東側隆起) 南東半部：西側隆起	(7.5)	
2-2			左横ずれ(北東側隆起)	7.2	
2-3		26	右横ずれ(北西側隆起)	7.2	
2-4		26	右横ずれ(北西側隆起)	7.2	
3 京都盆地一奈良盆地東縁断層帯	奈良盆地東縁断層帯	35	東側隆起	7.4	
4-1 郷村・山田断層帯	郷村断層帯	34	左横ずれ(南西側隆起)	7.4+	北丹後(1927)
4-2	山田断層帯	33	右横ずれ(北西側隆起)	7.4	
5 木津川断層帯	木津川断層帯	31	北側隆起(右横ずれ)	7.3	伊賀上野(1854)
6 琵琶湖西岸断層帯	琵琶湖西岸断層帯	55	西側隆起	7.1	
7 有馬一高根断層帯	有馬一高根断層帯	34	右横ずれ	7.2	慶長伏見(1596)
8 生駒断層帯	生駒断層帯	38	東側隆起	7.0-7.5	
9 黄巣断層帯	黄巣断層帯		東側隆起		
10 奈良盆地東縁断層帯	奈良盆地東縁断層帯		東側隆起		
11 三方・花折断層帯	三方・花折断層帯	11	東側隆起	6.6	
12 京都西山断層帯	光明寺一釜ヶ原一身山東縁断層帯		西側隆起		
13 京都西山断層帯	亀岡断層帯		北東側隆起		
14 若狭断層帯		18	北東側隆起		
15 養父断層帯		10	南側隆起		
16 宇治川断層帯		9	北西側隆起		
17 その他(近畿の活断層の赤・赤波線・黒波線)					

1~8：地震調査研究推進本部P(http://www.jishin.go.jp)より  
9~10：1、2 今回調査  
14~15：活断層研究会編(1991)：新編日本の活断層より  
16：京都市(2002)：京都の活断層第2版より  
11：京都市(2003)：京都市第3次地震被害想定結果報告書より

・黄檗断層は既存調査と地形から宇治川北岸から宇治川北岸までは存在することが確認できる。

・A測線の結果、宇治市大久保周辺には地下で断層が存在しないことが明らかになった。また、この地点より東側には地表付近から厚い砂礫層が山地に向かって堆積している。この砂礫層には変動地形は確認されず、今回調査によって基盤岩の不連続も確認されない。従ってこの地域まで断層はつながっていないと見られる。一以上より、黄檗断層は宇治川北岸の宇治市養道付近までと見られ、南部の井手断層へはつながっていないと見られる。

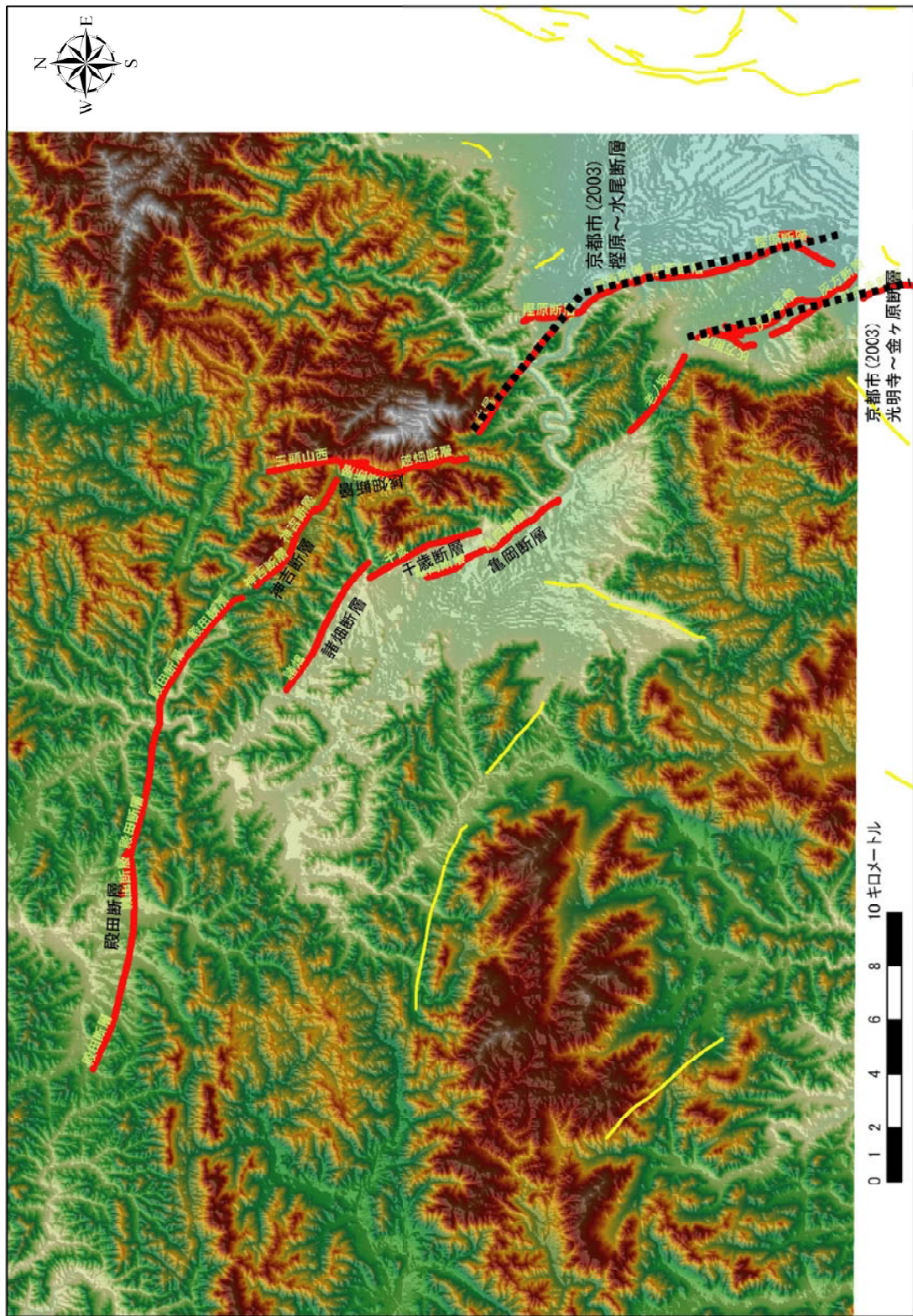


図一2 黄檗断層・井手断層の概要図

・井手断層系の南端はJR木津駅南東付近まで追跡でき、少し空白があったが奈良市へつながっていく。  
 ・国の地震調査研究推進本部は、城陽から奈良県桜井市までを一連の断層帯としている。今回の調査でこの見解を覆すデータは得られていないため、国の見解を踏襲することも考えられる。

・井手断層はB測線で存在が確認された。





出典：「近畿の活断層」(2000)、「京都市第3次地審定報告書」(2003)

京都西山断層帯の設定 (案)

- ① 殿田-神吉-越前断層は一連のものとして検討する。
- ② 水尾-椋原断層は京都市 (2003) の検討に準拠する。
- ③ 諸畑-千歳-亀岡断層は京都府の調査結果を基にする。
- ④ 光明寺-金ヶ原- (男山東縁) 断層は前頁1-4の検討結果による。

図-4 京都西山断層帯の概要図